

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。めざせ、均等待遇、なくその差別！ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

ブラック企業からの脱出は？

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3823
18年1月23日(火)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。
1月12日、10年ぶりに全面改訂された広辞苑に新たに「ブラック企業」が収録された。言うまでもなく「ブラック企業」とは、度を越えた長時間労働やノルマを課し、パワハラやセクハラが横行している企業を指す。数年前から社会問題化し、2012年にはブラック企業大賞と言うブラック企業の頂点を極める企画も始まった。
一昨年のブラック企業大賞2016では、日本郵便株式会社が「特別賞」と「WEB」投票賞のダブル受賞となった。主な受賞理由は「パワハラなどが原因で自殺者が相次いでいる事、また年賀はがきの自爆営業などで見られるように、社員に理不尽なノルマを課している事などだった。」
昨年2017年ブラック企業大賞には日本郵便はノミネートされなかったが、宅配業界からはヤマト運輸がノミネートされた。ノミ

ネット理由は残業代の未払いや残業時間上限を超える違法な残業をさせるなど、労働基準法違反例が数多く報じられている事となっている。



2017年春闘のヤマトの労使交渉で端を発した宅配問題。右肩上がり増え続ける荷物に人員が追い付かず、結果、サービス残業が常態化し、計上された残業代未払い金額は230億円とも言われている。

ヤマトは10月に運賃の値上げを行い大口の法人顧客にも料金値上げを行った結果、契約を結ばない法人顧客も出たが、ドライバー不足の問題を考えれば当然の改善策だったに違いない。



では、日本郵便はどうだろうか？ブラック企業大賞にてダブル受賞した201

6年より間違いなく職場環境は悪化している。郵便物は減少しているが、手間がかかる大型郵便や追跡関係の郵便物が増えた関係で、作業時間はかえって増加し、通配区も定時で帰局することが厳しくなっている。また、ゆうパックに関しては増加しているにも関わらず要員配置は現状のまま。当然、毎日超勤での対応となっている。



受託者の撤退や社員の退職で現場は人手不足だ。会社も危機感はあるが、募集をかけるが集まる気配はない。では何故集まらないのか？理由は幾つか考えられる。長崎は人口流出に歯止めがかからず、若者を中心に職を求めて県外に出ている現実がある。時給が安い、営業ノルマやサービス残業などブラック企業のイメージが定着しているなどだ。

仕事をする上で、対価として受け取る賃金が納得いくものか否かでその仕事を続けられるかが決まる。厳

しい職場だとしても、ほとんどの正規社員は定年まで働くことを考えているだろう。しかし、非正規となると話は違う。誤配や交通事故などを起こせば場合によってはスキルダウンの可能性があるので身分は不安定だ。

勤続5年超は、アソシエイト社員が創設され無期雇用となり雇止め心配はなくなったが、雇用形態が有期から無期になっただけで、その他の労働条件は同じだ。また、正社員登用への道もあるが現実には厳しい。現在の職場は、昼の休憩時間45分をまともに取得しないサービス残業が横行しているし、ゆうパック業務に関しては残業ありきの担務指定になっている。ペテランの社員でも厳しい職場の現実を肌で感じている中で、実際、応募に来た人がこの職場で勤め続けることができるだろうか？



昨年の宅配便問題で、日本郵便も含めこの業界はブ

ラックなイメージが定着してしまった。恐らくヤマト運輸、佐川急便も人手不足はどこも同じだろう。人手不足解消には当然人を集めなければいけないが、その前に今働いている人を辞めさせない努力も必要だろう。その為には、特に非正規社員の労働条件を正社員並みに近づけていくしかない。



正規、非正規関係なく安心して働ける職場を作ることが、本当の意味でのブラック企業からの脱出ではないだろうか？

今後のスケジュール
1月27日(土)～28日(日)
全国青年団結交流集会
開催場所 矢太楼
1月28日(日)
郵政ユニオン九州地本地方大会
13時から長崎中央郵便局4階第2会議室

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。